

# 大切な命を守るために

問い合わせ 市民病院管理課(☎5710052)



これからも、地域の基幹病院として、職員一丸となって、多くの患者さんの命を守っていききたいと思えます。

市民病院 院長  
成瀬友彦

24時間体制で日々救急を受診する多くの患者の命と向き合っている市民病院。今回の特集では、救命救急の現場で働く医療従事者の声や現場の様子を紹介するとともに、住み慣れた地域で適切な医療機関を受診するために大切なことを紹介します。

## 救急搬送される全ての患者の受け入れを目指して

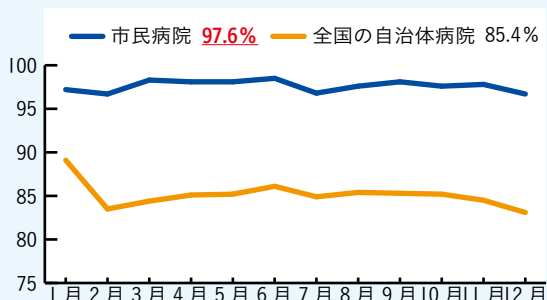
市民病院では、春日井をはじめ近隣の市町村など広範囲の消防機関からの救急搬送や、他の医療機関からの転院など、軽症患者から重篤患者まで多くの救急患者を受け入れています。

特に救急車で運ばれてくる患者の受け入れ件数は、全国292か所にある救命救急センターの中でも、非常に多くなっています。また、救急車の応需率(※)も年間を通じて約98%を維持し、全国の救急を標榜している医療機関における昨年の応需率と比較して高い数値となっています。

※救急車の受け入れ要請に対し、受け入れた患者数の割合

### Point ②

救急車の応需率 (平成31年・令和元年)



日本病院会のデータより作成 (全国の自治体病院)

### Point ①

救急搬送受入件数 (平成31年・令和元年)

**9741件**

救命救急センター  
全国292か所

**19番目**

(出典) 厚生労働省・救命救急センター評価結果

## 救急医療に込められた思い

内科医師  
吉澤祐佳※現在は他院で  
研修中(3月末まで)真摯な姿勢と  
命を守る使命感

当院の救命救急センターは、一日当たり多いときに50件、少ないときでも20件前後の救急搬送を受け入れています。他の医療機関の救命救急センターと比べても件数は多く、張り詰めた状況が続くことも少なくありません。多くの患者さんを受け入れている当院だからこそ、真摯な姿勢と命を守る使命感を強く持って、患者の治療にあたるよう心掛けています。

## 人間の尊厳のために

私の中で大切にしている理念があります。「人間の尊厳のために」。元は「Hominis Dignitati」というラテン語で、私自身が医療の道を志すきっかけとなった大切な言葉です。これからも、どうしたら患者さんが自分らしくいられるかをいつも考えながら治療にあたっていきたいと思っています。



昨年参加した内科救急勉強会の様子

24時間途切れることなく搬送されてくる患者の対応に追われる医療従事者。実際に救命救急センターの現場で救急医療に携わる医師や看護師(救急看護認定看護師)に話を聞きました。

救急看護認定看護師  
立澤宏真

## 修羅場を変えたい

当院の救命救急に携わるようになって浮かんできた言葉は、「修羅場」でした。年間約一万件に及ぶ救急搬送。救急を受診する患者さんは一次(軽症)・二次(中等症)・三次(重症)が混在した状態で、本当に必死に走り回った日々でした。そういった状況を何とかしたいという思いと、当時の看護部長からの声掛けもあり、救急看護認定看護師を目指しました。

職員全体のレベルアップ  
で現場を変える

救急看護認定看護師資格取得以降は、患者さんの容体や付き添いの人からの聞き取り、紹介状などの情報から必要な検査や治療を考え、トリアージ(緊急性や優先順位を決定)する能力や、ケースによっては医師とディスカッションする能力など、看護師のスキルアップに力を入れるようになりました。

救命救急に携わる職員全体のレベルアップが、厳しい現場を変える大きな力になると信じています。



# 救命救急の現場

皆さんは患者が救急搬送された後、救急現場で何が行われているか知っていますか。  
同時に2台の救急車が到着した時の救命救急センターの様子を紹介します。

## ② 原因究明



一刻を争う重篤患者の治療には、短時間で正確な画像診断が必要となる。脳神経内科の医師をはじめ、**病院の医療安全部門や放射線診断専門医の多重チェック**を実施。

## ① 容体確認



自宅で倒れ、救急搬送されてきた患者。家族から倒れる少し前からろれつが回っていなかったことなどを救急隊員が聞き取りし、医師へ伝達。担当医は脳疾患を疑う。

CASE 1  
脳梗塞

## ② 診療科連携



消化器内科医が内視鏡検査で出血箇所を特定。外科手術での止血が必要となったが、常駐の外科医が別の患者を対応していたため、別の外科医を緊急招集。外科医は病院へ向かう最中もタブレット端末で検査の結果や画像を確認(院外カルテ閲覧システム)。

## ① 初期治療



激しい腹痛で救急搬送されてきた患者。下血していることから担当医は輸血を指示。出血による血圧低下を防ぎながら治療を行う。

CASE 2  
消化管出血

## ／ 住み慣れた地域で適切な医療を ／ かかりつけ医 を持ちましょう

住み慣れた地域で適切な受診をするためには、かかりつけ医の存在は不可欠です。日頃の健康状態を知っているかかりつけ医がいれば、気軽に健康面の相談ができ、必要なときは専門の医療機関を紹介してもらえます。まずはかかりつけ医を持ちましょう。

の  
ない  
医療  
を  
提供  
して  
いま  
す。

例  
え  
ば  
整  
形  
外  
科  
で  
は  
、  
高  
齢  
の  
患  
者  
さ  
ん  
の  
代  
表  
的  
骨  
折  
症  
例  
の  
「  
大  
腿  
骨  
近  
位  
部  
骨  
折  
」  
に  
対  
し  
て  
は  
、  
A  
D  
L  
(  
日  
常  
生  
活  
動  
作  
の  
低  
下  
を  
防  
ぐ  
た  
め  
、  
で  
き  
る  
限  
り  
早  
期  
に  
手  
術  
を  
し  
て  
、  
術  
後  
病  
状  
が  
安  
定  
し  
て  
き  
た  
ら  
、  
患  
者  
さ  
ん  
が  
よ  
り  
通  
い  
や  
す  
い  
施  
設  
を  
紹  
介  
し  
、  
そ  
こ  
で  
リ  
ハ  
ビ  
リ  
や  
経  
過  
観  
察  
を  
行  
い  
ま  
す。

か  
か  
り  
つ  
け  
医  
の  
紹  
介  
に  
よ  
り  
市  
民  
病  
院  
な  
ど  
の  
専  
門  
的  
な  
医  
療  
機  
関  
で  
検  
査  
や  
治  
療  
を  
受  
け  
、  
治  
療  
を  
終  
え  
た  
ら  
か  
か  
り  
つ  
け  
医  
へ  
戻  
る  
「  
地  
域  
完  
結  
型  
の  
医  
療  
」  
で  
、  
住  
み  
慣  
れた  
地  
域  
で  
よ  
り  
適  
切  
な  
医  
療  
を  
受  
け  
る  
こ  
と  
が  
で  
き  
ま  
す。

住み慣れた地域で  
切れ目のない医療を

### 春日井市民病院地域医療連携ネットワークシステム「Tri-netかすがい」

あ  
り  
ま  
す。

ま  
た  
、  
情  
報  
共  
有  
に  
よ  
り  
、  
重  
複  
し  
て  
検  
査  
を  
す  
る  
必  
要  
が  
な  
く  
な  
り  
、  
速  
やか  
に  
診  
療  
を  
受  
け  
る  
こ  
と  
が  
で  
き  
る  
メ  
リ  
ッ  
ト  
も  
あ  
り  
ま  
す。

地域の医療機関と  
さらなる連携を  
目指して

「Tri-netかすがい」  
では、地域の医療機関  
と患者の診療方針や  
治療・検査、薬剤など  
の情報共有するこ  
とで、切れ目のない安  
全な医療の提供につな  
げます。



整形外科医師  
加藤 治朗

## ※1 rt-PA 静注療法とは

脳梗塞の発症から4時間半以内の場合に行うことができる治療法です。

発症からの時間経過により実施できる治療は変化していきます。

## ※2 SCUとは

「Stroke Care Unit(脳卒中ケアユニット)」の略語で、看護やリハビリテーションが効率的・効果的に集約された医療を提供するのがSCUです。

脳神経内科医または脳神経外科医が24時間院内に常駐する体制をとり、リハビリテーションでは専任の理学療法士や作業療法士に加えて、言語聴覚士も治療に携わることで、早期の退院を目指し、質の高いケアを行います。



## ③ 治療



救急医と専門医の早期対応で、脳血管に詰まった血栓を、**rt-PA静注療法**<sup>※1</sup>で溶かしていく。薬で溶かしきれない血栓は血管の中にカテーテルという細い管を進めて、直接回収。術後は、**SCU**<sup>※2</sup>でリハビリテーションを実施。

## ③ チーム医療



院外からの外科医の的確な指示により、病院到着後スムーズに開腹手術を行うことができ、早期に止血を完了。救命救急センター、内科医、外科医が連携し、迅速に対応。

3



### ①、②でも受診できないとき

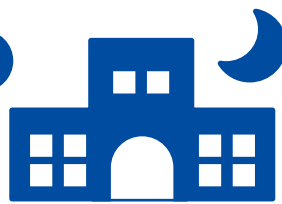
かかりつけ医や休日・平日夜間急病診療所で受診できない場合や、受診先が分からない場合は、次の機関に問い合わせてください。

#### 問い合わせ先

愛知県救急医療情報センター  
毎日24時間体制 ☎81-1133

愛知県小児救急電話相談  
毎日午後7時～翌午前8時  
#8000(短縮番号)または、  
☎052-962-9900

2



### 休日・夜間のとき

かかりつけ医が受診できない時間帯は、休日・平日夜間急病診療所で診療を受けられます。受診される際に診療時間を確認し、事前に連絡してから出掛けてください。

#### 問い合わせ先

春日井市休日・平日夜間急病診療所  
(総合保健医療センター)

☎84-3060



受診など詳しくは市ホームページで

突然の  
病気やけがで  
困った場合

1



かかりつけ医に  
相談しましょう。

かかりつけ医は普段の診療から総合的に判断し、適切な治療が受けられます。